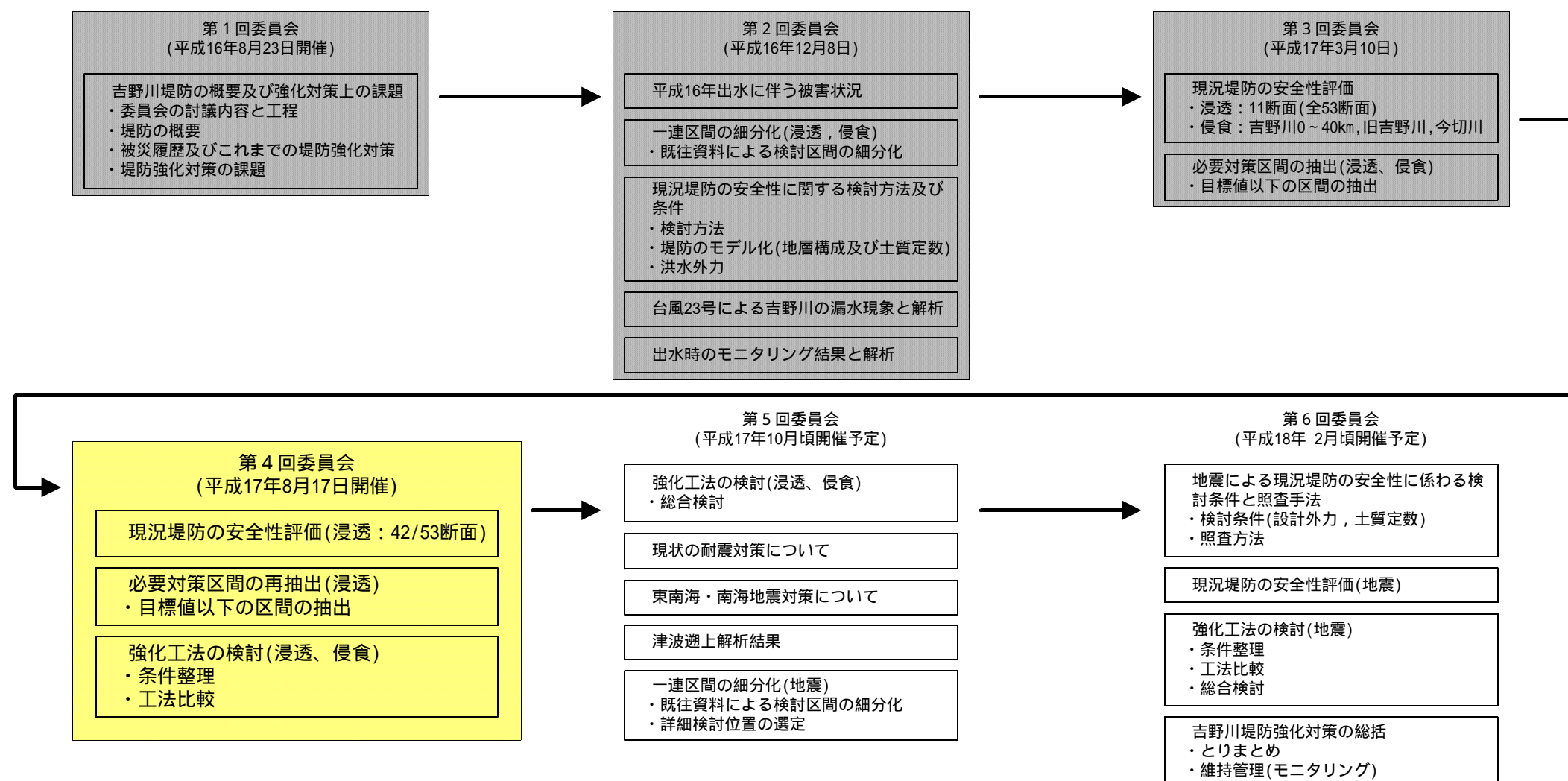


2. 平成17年度 堤防強化検討委員会の討議内容

平成17年度検討委員会の主題

平成17年度は、16年度と同様に学識経験者による委員会を公開のもとに開催し、浸透および地震に対する現況堤防の安全性照査を行い、目標値以下の区間を抽出し、各項目毎の対策工法の検討を行うものとする。なお、対策工法の検討に際しては、浸透、侵食、地震に対する相互の関係を考慮した効率的な対策工法を選定し、吉野川特有の動植物や地下水などの自然環境に対する影響を十分に考慮するものとする。また、以上の問題を考慮した堤防の質的整備計画についての方針、および対策工法の効果判定や今後の維持管理を検討するためのモニタリング計画を併せて作成するものとする。

討議内容と委員会のスケジュール



(1) 第4回委員会(平成17年8月17日)

浸透に対して、全53断面中42断面(平成および昭和被災箇所)の現況堤防の安全性評価を行い、目標値以下の区間を抽出する。また、浸透および侵食に対する堤防強化工法の検討(一次選定)を行う。

(2) 第5回委員会(平成17年10月頃)

浸透・侵食に対する強化工法の総合検討を、環境に対する影響評価も含めて行う。また、現状の耐震対策と東南海・南海地震対策について紹介するほか、地震に対する現況堤防の安全性を検討する断面を選定する。

(3) 第6回委員会(平成18年2月頃)

地震に対する現況堤防の安全性評価を行い、強化工法を検討する。また、浸透・侵食対策および環境に対する影響評価を含めた総合検討を行い、吉野川における堤防強化工法についての総括を行う。